

記憶(1) 短期記憶障害, ワーキングメモリ障害

※ 神経心理学・臨床神経学的(時間による)分類 は心理学的分類とやや異なる
即時 immediate 記憶 / 近時 recent 記憶 / 遠隔 remote 記憶

★ 短期記憶 (short-term memory) : ワーキングメモリ (working memory)

9-1. 症状 (臨床神経心理学・高次脳機能障害学)

9-1-1. 症例 K. F.

- a. 容量の問題
- b. 持続時間の問題

9-1-2. 聴覚-言語性, 視覚-言語性, 視覚-空間性の障害

9-2. どのように調べるか (神経心理学的検査)
/ 介入するか (認知リハビリテーション)

9-2-1. (言語性) 数唱, 文字列, 単語列 → 順唱, 逆唱

9-2-2. (非言語性) tapping span / spatial span → 順番通りに / 逆順に

9-2-3. (記銘力障害 recent memory disturbance の検出)

- a. WMS-R
- b. (言語性記憶 verbal memory) 標準言語性対連合学習検査
- c. (視覚性記憶 visual memory) Benton 視覚記銘検査
- d. (視覚性記憶) Rey-Osterrieth 複雑図形 (再生)

※非言語性 nonverbal 視空間性, (言語以外の) 聴覚性, 体性感覚性など

- e. リバーミード行動記憶検査

9-3. メカニズムの仮説 (認知神経心理学)

9-3-1. Atkinson & Shiffrin (1968) の二重貯蔵モデル STM→ (リハーサル) →LTM

9-3-2. Baddeley (1974) のワーキングメモリモデル

- a. 構音ループ (articulatory loop)
- b. 視空間スケッチパッド (visuospatial sketchpad)
- c. 中央実行系 (central executive)

※ Baddeley (2000) では, エピソードバッファ (episodic buffer) 追加

9-3-3. (WM 研究の発展)

- a. ワーキングメモリスパン working memory span → 個人差 → 知能 → 教育
- b. (個人差→) 発達 → 神経発達症 (= “発達障害”)
- c. ソーシャルワーキングメモリ social working memory → 社会
- d. 情動 → 不安・抑うつ → 臨床
- e. 「意識」
- f. 行為制御, 注意, …

9-4. 脳の構造と機能 (認知神経科学)

9-4-1. (STM) 感覚モダリティ・内容に対応した病変部位

9-4-2. (WM) 前頭前野の関与～中央実行系

参考図書

バドリー (井関龍太・齊藤智・川崎恵里子訳) : ワーキングメモリ—思考と行為の心理学的基盤. 誠信書房, 2012.

■978-4414306286 □141.34-B14, 中央

荻阪満里子 : もの忘れの脳科学. 講談社ブルーバックス, 2014.

■978-4062578745 □408-B94-1874, 中央